

か け は し

発行；峡南教育事務所地域教育推進担当

TEL；0556 22 8154

所在地；南巨摩郡鯉沢町771-2

FAX；0556 22 8144

HPでも見られます：URL <http://www.pref.yamanashi.jp/barrier/html/kyoiku-mk/80990243338.htm>

うちの子も・よその子も みんな地域の子どもたち 子どもの安全を守る力は地域連携から

...子どもの安全を守る各地で取り組みを追って

2001年に池田小学校で発生した無差別殺人事件に端を発して、子どもの安全を脅かす事件が次々に起こり、子どもの安全を守ることが重要な課題になっています。山梨県ではスクールガード（学校安全ボランティア）を積極的に養成し、地域ぐるみで学校の安全体制を整備する事業を進めています。峡南地域でも、管内の6町で8名のスクールガードリーダーが配置され、それぞれの地域でさまざまな子どもの安全を守る活動が行われています。

6月29日（水）には、身延総合文化会館で平成18年度の峡南地区スクールガード養成講習会が開催されました。この講習会は、各地域で子どもを守る活動に取り組んでいる人たちの相互交流と情報交換をはかることをねらって行われたもので、講演、南部警察署生活安全係長の長谷野伸治さんから峡南地域での子どもに関わる事件についての情報提供、4つのブロックに分かれての情報交換会などが行われました。

講師の社会福祉活動研究所の新谷珠恵さんは講演の中で、多発する学校や子どもをねらう犯罪は、「地域共同体の崩壊」と言う社会のひずみが弱者の上に降りかかってきたもので、地域の大人が連携し、大人の責任、社会の責任として具体的な対策を講じなければならない。「うちの子も・よその子も、子どもは地域・社会で守



講師の新谷珠恵さん

る」との意識改革が重要と力説されていました。

峡南地域では最も早く、自主的に見守り活動を始めた「栄小スクール見守り隊」の佐野敏明さんは見守り活



熱心に講演に聞き入る受講者の皆さん

動をしながら「私たちのこのような活動が、安全で安心して子どもを育てることのできる町づくりにつながり、少子化問題にも歯止めがかかればと思っています」と話されていたことが印象に残っています。

子どもの安全を守る活動の高まりと共に、今まで子供たちと直接の接点を持つ機会の少なかった多くの人たちが、子供たちに目を向ける気運が高まってきました。また、高校生も、子どもの安全を守る活動に自分たちができる形で積極的に参加するなど、今までには見られなかった地域連携も生まれてきました。

各地で高まりをみせている子どもの安全を守る

身延町防犯パトロール隊



身延町防犯パトロール隊（通称青パト隊）は平成18年2月に町の依頼でシルバー人材センターに登録しているメンバーで発足しました。現在の隊員は6名で、月～金の午後3時～6時の間、2名ずつが組になって青色灯を付けた専用車で身延町内にある全ての保・幼・小、中とその周辺を周りながら、下校中の児童・生徒や子供たちを見守るスクールガードの方達に声をかけています。パトロールに同行した6月20日は、望月幸男さん（左）と小林正憲さん（右）が担当で、旧中富身延 下部のコースで町内を回り、青パトの走行距離は65kmになりました。パトロールを始めた当初は住民の方々の認知度が低く、あまり反応がなかったが、最近では「ありがとう」「かんばって」などの声をかけられるようになったとのこと。この間町内では子どもの安全に関わる問題の発生はなく、青パトはかなり効果をあげているようです。決して若くはないメンバーには、細い道が多く運転が大変なことから、隊員が減って出勤回数が増えているのが悩みのタネなのだそう

る活動が、単に登下校時の見守り活動で終わらず、地域に住む多くの人たちが地域との関わりを深め、お互いに連携しながら自分たちの住む町を、みんなでさらに住みやすい町にする運動につながる第一歩にできたらとの思いを強くしました。

栄小スクール見守り隊



栄小スクール見守り隊は平成16年12月から子どもたちの下校時刻にあわせて、徒歩や車で地区の見回りをする活動しています。活動のきっかけは、栄小学校のある南部町内船の学校通り区の区会が出た、うちの区にある学校の子どもの安全を守るために、自分たちができることから活動を始めようという声からだそうです。現在のメンバーは女性2名を含む10名で、毎日数名が3時30分頃から、内船地区を中心に見守り活動を行っています。取材に伺った6月19日は、依田安雄さん（左端）、芦沢理司さん（左から2人目）、佐野敏明さん（右から2人目）、依田安雄さん（右端）、近藤千虎さんの5名が集まり、正門に集合した後、各方面に分かれて見守り活動に出発しました。当日同行した佐野さんは、徒歩で通学路や、子どもたちが立ち寄る「森田文庫」などにも顔を出して声をかけてゆきます。途中子どもがいる家の大人にも声をかけたり、下校してくる中学生にも声をかけながら、1時間あまりをかけて地区を一周しました。

佐野さんは、まもなく内船上区の老人会も活動に加わってもらえるので、さらに充実した活動ができると話していました

スクールガード養成講座 各町での取り組み



異校種間連携、また一歩前進

5月の身延中学校での小・中連携の試みに続いて、6月8日（木）には身延東小学校で、新入生の出身4保育園の昨年の年長組担任などを招いて、授業参観と懇談会がはじめて行われました。翌9日（金）には、市川高校で、恒例になっている教育懇談会（授業参観と懇談会など）が生徒の出身中学校の旧担任などを招いて行われました。また、29日（木）には、わかば

増穂町...町の防災無線で下校時に放送

・「青パト」でパトロール

鯉沢町...登下校時にリレー方式で送り迎え

・老人クラブに見守り活動を依頼中

市川三郷町...PTA、老人クラブ、ボランティア等で見守り活動を実施または依頼中

・市川地区では老人クラブの見守りパトロール隊に110名が登録

早川町...各地区でリーダーが中心になって巡回

身延町...見守り隊を組織して、登下校とも見守り中

南部町...下校時間を全戸に設置してあるオフトーク通信で連絡している

・見守り隊が活動している

身延高校陸上部



身延高校陸上部（山田辰巳部長）は今年5月から、「子ども見守り隊」の一員として、朝7時30分から始める早朝練習の学校周辺のランニングに合わせて、コースを通学路にしている身延西小学校の子どもたちに声かけ活動をしています。2名の部員たちは「防犯パトロール」とかかれた黄色のたすきや腕章をつけて、登校してくる子どもたちに声をかけます。子どもたちからも「おはようございます」の声が返ってきます。取材した6月27日にも、学園祭を明日に控えた忙しい時期にもかかわらず、学校の横を流れる波木井川に沿う通学路上で、早朝練習と子どもたちへの声かけ活動に取り組んでいました。



身延東小での授業参観



富士川分校のオープンスクール



養護ふじかわ分校で、2回目になるオープンスクールが開かれ、授業参観と教育相談が行われました。どの会でも、異校種間での円滑な情報交流やお互いの授業内容の検討の必要性が確認されました。

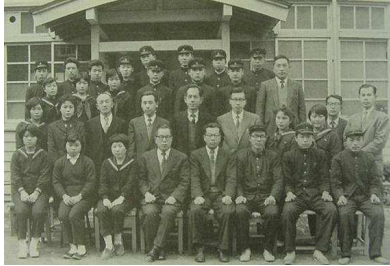
懐かしい学舎はいま

廃校跡をたずねて その4 旧南部町

旧南部町には、峡南農工高等学校（峡南高校）定時制の南部分校、睦合（むつあい）中学校、栄（さかえ）中学校と栄小学校佐野分校の4ヶ所が廃校跡として残っています。

【県立峡南農工高等学校定時制南部分校】

県立峡南農工学校（現峡南高校）定時制南部分校は昭和23年に栄分校として開校しました。当初は栄小学校の校舎の一部を間借りしていま



昭和31年の卒業写真...南部町誌より

したが、昭和26年からは中学校が移転した後の旧栄青年学校に移転し、昭和36年に廃校になるまで、栄小学校の校舎北側（現職員駐車場）にありました。当時を偲ぶものは何も残っていません。

【睦合中学校】

睦合中学校は昭和22年に睦合小学校の西側校舎を間借りして開校しました。昭和24年には睦合小学校と同一の敷地に独立校舎が建てられました。昭和34年には町村合併にともない、栄中学と統合し南部中学西校舎となり、昭和37年に南部中学校が城山地区の新校舎に移転するまで



の間同地区にありました。睦合中学校の校舎が建てられていた場所は、現在睦合小学校の校庭の一部になり、色々な遊具が置かれています。



一、 篠井の山風春立ちて
浅春の譜を奏でつつ
木々は色めく睦合の
わが中学の集いかな
二、 南部の史蹟遠しとも
城山に咲く桜花
富士の川波つるえど
ゆかり尊き我が郷ぞ
三、 清新よ永久に戸栗川
滴るみどりは我が心
空行く雲に照りはえて
のぞみはるけき我が母校

睦合中学校校歌
向井 房恵 作詞
坂口 五郎 作曲

上)校舎の跡地(草むら)から睦合小を望む
下)睦合小・中学校の校舎全景向かって右が中学校
...南部中蔵

【栄中学校】

栄中学校は昭和22年に栄青年学校と栄小学校の校舎を間借りして開校しました。昭和26年には栄小学校と校庭を挟んで独立校舎が建てられました。昭和34年には町村合併にともない、睦



上) 栄中学校の正面玄関付近...南部中蔵
下) 中学校の敷地から栄小を望む



合中学と統合し南部中学東校舎となり、昭和37年に南部中学校が城山地区に新築移転するまでの間、同地区にありました。栄中学校の校舎が建てられていた場所は、現在隣接するアルファセンターの駐車場やゲートボール場として利用されていて、当時を偲ぶものは何も残っていません。

栄中学校校歌
窪田純子 作詞
内田 俊 作曲

一、 篠井の山なみ朝日に
富士の川辺に若草もえて
仰ぎみるものみな清らなる
ああ山峡に立つ 栄中学
二、 流れに遊べる若鮎のごと
自らなるすがしさを
理想の自主を高くかざせば
おお湧き出すあつき息吹よ
三、 流るる雲に昔を偲べば
偉人の業に眸はもえて
郷土の文化ここに築けと
ああ歩みよるなり若き同胞
四、 おとなう風に心澄ませば
自然の声は高く厳しく
歴史をここに創って行けと
おお若さあふるる 栄中学

【栄小学校佐野分校】

佐野分校は明治7年に内船学校上佐野支校として開校し、昭和52年に閉校になるまで、上佐野地区の佐野川沿いの高台にありました。校庭はそのまま残され、隅には記念碑が建てられています。昭和32年に建てられた講堂は取り壊されましたが、校舎は改装され佐野清涼荘という名前の宿泊施設として利用されています。



上) 佐野清涼荘の全景
左) 校庭の隅に建つ記念碑
下) 閉校時の全生徒・職員...栄小蔵



シリーズ 親子で読む本

ももいろのきりん ある朝ジジジャンボウはあったまげた ちびくろさんぼ ろくべいまってろよ 絵本ことばあそび むしばミュータンスのぼうけん わたし がいこつさん きょうりゅうたち ... 5歳前半

分野を広げて何でも読める五歳

発達に応じて系統的な読み聞かせをしてきた(当然のことながらTVやアニメ 戦隊もの、キャラクターものを避けてきた)子どもにとって、5歳ではあらゆる分野の本(科学絵本や本格的な言葉遊び絵本)や高度な物語絵本が可能になる。また、いわゆる絵話のような長い物語を聞くこともできるようになる。もちろん、性差もはっきりしてきて、その点では好みの傾向は分かれるが、高度な物語絵本が聞けるということは、その後の読書傾向を決定する大きな力になるだろう。

発達の傾向は前回4歳後半で述べたように社会性を形成していく時期なので、その延長線上の適切な選書が必要となる。

例えば「わたし」(福音館書店)は、自分と周囲の関係をひじょうにおもしろい表現で確認する絵本である。物語絵本では「ろくべいまってろよ」(文研出版)などもさまざまな関係が盛り込まれた絵本として挙げる事ができる。また、一時、「過激な差別排斥」で、いわれなき絶版の憂目に遭った名作「ちびくろさんぼ」(瑞雲社)も、この時期の子どもが楽しめる内容を持った絵本である。この復刻はうれしい。言葉遊びでは谷川俊太郎の「ことばあそびうた」が有名だが、最近の子どもは五味太郎の「絵本ことばあそび」(岩崎書店)



...NPO山梨子ども図書館事務局 長谷川敏夫

のほうが反応が大きいようである。

さらに時期に適切なものとして歯磨きに関係したものの「がいこつさん」(文化出版局)などがあるが、やはり、かこさとし独特の言い回しが強烈な「むしばミュータンスのぼうけん」は代表的な科学?絵本だろう。



絵話では「ももいろのきりん」(福音館書店)を女の子にはすすめたい。また男の子向けとして荒唐無稽な話もこの時期にはひじょうに反応する傾向があるので「ある朝ジジジャンボウはあったまげた」(絵本館)なども挙げておく。また写実的な絵で恐竜を描いた「きょうりゅうたち」(文化出版局)も男の子には人気の高い絵本である。

5歳という時期は社会性が広がるといったが、良くも悪しくもの両面があり、園など周囲の影響を受けやすい時期でもある。時として園や周囲は粗悪・劣悪なものの流行を容認して、それに参入しない子を「異質」として排除することさえする。こういう波を受けながらも、なるべく「より高度な思考」が形作られるような環境を親としては与えていきたい、と思うのだが、やはりレンジャーものやポケモンなどの長い物には巻かれたほうがいいとお考えでしょうか?

峡南花紀行

ふるさとに咲く花をさがして その11

ヤマイワカガミ(山岩鏡) イワウメ科 早川町 七面山北参道

七面山は山頂近くに身延山の守護神である七面大明神を祀る敬禎院(けいしんいん)がある信仰の山です。早川沿いの角瀬(すみせ)の集落から、早川の支流春木川を羽衣まで遡り、杉木立の中に続く表参道を、敬禎院を目指して登りはじめると、白装束姿でお題目を唱えながら登る日蓮宗の信者の姿も多く見かけます。

敬禎院の境内にある隨身門(ずいしんもん)の遙拝台(ようはい)からは春分や秋分の日には、富士山頂から陽が昇るダイヤモンド富士を見ることもできます。敬禎院から奥の院を通り、角瀬へと尾根沿い



に続く北参道を下ると、参道脇の斜面や林の中に、厚く光沢のある葉から伸びた花茎に、花卉のふちが細く切れ込んだ白い花をつけたヤマイワカガミが群生しているのに出会いました。



イワカガミの間はほとんどがピンク色の花をつけますが、山梨、長野、静岡、愛知など中部地方に分布しているヤマイワカガミは白い花をつけます。

イワカガミという名前は、岩の多い場所に咲いていて、鏡のように光沢のある葉を持っているところから名付けられました。